

新入塾生募集中!

3/1(金)開講

勉強って **楽しい!**
実は

耕知塾

本当の基本⇒試行錯誤へ! 一耕知塾流頭の動かし方一

基本の重視

この言葉を聞いてどう思いますか? 「当たり前すぎる」と思った方も多いいと思います。ただ、結果ばかりが求められる昨今の風潮の中で、この過程を大事にする「基本の重視」という言葉を軽くみてはいないでしょうか。実際、塾業界においても定期テストにおける点数保証など短期間での成績アップをうたう塾も多数存在します。耕知塾は、そんな風潮の中でも、あえてこう宣言したいと思います。

耕知塾の授業はあくまで「**基本の重視である!**」と。

本当の基本⇒「ウソの基本=単純作業」ではない!

ただ、「基本」という言葉は、実は誤解されやすいとも感じています。耕知塾ではそれをウソの基本と呼んでいます。その1つが基本を「単純作業」だけと思っていること。例えば、国語でいえば漢字、算数でいえば計算などがそれにあたります。もちろん、漢字や計算は重要ですが、そういう単純作業だけが基本では断じてないのです。生徒の中には基本と言えば単純作業と思い込み、中には「低レベル」と見下すものさえいます。もちろん、それは間違いです。むしろ、**基本の充実こそがハイレベルへの一番正しい道**、だと耕知塾では考えています。

本当の基本⇒大事な道具を磨け!

それでは、本当の基本とは何か。それは「**大事な道具を磨け!**」です。各教科には必ずと言っていいほど、その教科を象徴するような「本質」ともいべき考え方=道具があります。例えば、算数でいえば「1」を基準に考える、英語なら「ひとつの文には動詞がひとつだけ」などがそれに該当します。まずは、そのことをしつこく、しつこく、身につけていく。頭でわかるレベルでは全然物足りない。体にしみつく位、徹底的にやる。講師は、その道具が本当に使える道具となるべく、工夫に工夫を重ねた授業を展開します。もちろん、このことが成し遂げられると本当に大きい。そう、生徒がしっかり道具を使えるよ

うになると、講師はこう叫ぶことができるようになるからです。「困ったら**基本(=大事な道具)**に戻れ」と。

そして試行錯誤へ…!

そして、本当の基本を身につけると、もう一つ大きなメリットが。それは、**試行錯誤**をすることができるようになることです。本当の基本=大事な道具が身につけていけば、それを起点に「根拠に基づいて頭を動かす」ことができます。こうなるとしめたもの。生徒は、仮に問題が解けずに困っていたとしても「〇〇だから、こうした」、次に「△△だから、こうやってみた」、とよい意味で**試行錯誤**ができるのです。そう、この「試行錯誤」はとても重要。

なぜなら、あくまで講師が、生徒を強引に誘導するのではなく、生徒自身が自分で考え、自分なりの実感を手にする。この実感こそが「本物の学力」に繋がっていく、からです。勉強が苦手な生徒は、「前もこうやったから」とか「なんとなく…」など根拠のない場当たり的な頭の動かし方しかできません。そういった生徒には、道具の使い方の徹底をとことん行うとともに、「考えることの楽しさ」を伝える、そんな授業を心がけています。

耕知塾の授業は「急がば回れ」=「長い目主義」

耕知塾の授業は、実は演習中心の授業です。もちろん、それは試行錯誤の楽しさを実際に生徒に実感してもらうため。また、「**生徒の頭が主役!**」という大方針を掲げているのもそのためです。そして、同時に教え過ぎない授業も心がけています。教え過ぎてしまうと生徒が試行錯誤し、大きく成長する機会を逃してしまう。それを耕知塾では「**急がば回れ**」=長い目主義、と呼び、講師一同徹底しています。耕知塾は集団塾ではありませんが、1人1人の生徒と真剣に向き合い、じっくりじっくり生徒を育てたい、と考えてます。是非、耕知塾の授業にご期待頂ければと思います(更に裏面に具体的な教科の基本についても触れています。こちらも是非、ご一読下さい)。

学力診断テスト

実施日 2/10(土) 17(土) 24(土)

★会場 場/耕知塾の各教室
★時間 ◆小学生・新中1
…15:00~16:30
◆新中2・新中3
…15:00~17:30
★お申込み/電話又はメールで連絡の上、ご来塾ください。
(14:00~21:30)

金町教室 ☎03-5699-8663
kouchi@wood.odn.ne.jp

日暮里教室 ☎03-3821-4464
kouchi@aqua.ocn.ne.jp

選抜テストではなく、生徒の現在の学力を知るためのテストです。気負わずにありのままの学力を見せてください。
※上記以外の日でも学力診断テストは随時受け付けております。

2021年度~2023年度 合格実績 ひとり1校

2023年度

高校受験

(都)青山……………1名
(都)竹早……………1名
(都)三田……………1名
(都)小山台……………1名
(都)小松川……………1名
(都)北園……………1名
(都)城東……………1名
(都)上野……………2名
明治学院……………1名
東京都市大等々力(特進)……………1名
桜丘(Sアカデミック)……………1名
國學院……………1名
広尾学園小石川……………1名
東洋……………1名
東洋大京北……………1名
など

中学受験

(都)白鷲……………1名
明大中野……………1名
品川女子学院……………1名
共立女子……………1名
大妻中野……………1名
など

2022年度

高校受験

(都)戸山……………1名
(都)青山……………2名
(都)新宿……………1名
(都)竹早……………1名
(都)三田……………1名
(都)小松川……………1名
(都)北園……………1名
(都)文京……………1名
明治大学付属中野……………1名
芝浦工業大学柏……………1名
東京工業大学附属科学技術……………1名
江戸川女子(普通科III類)……………1名
國學院……………1名
東洋大京北……………1名
淑徳巣鴨(特進)……………1名
など

中学受験

芝浦工業大学柏……………1名
共立女子……………1名
麗澤(AE)……………1名
創価……………1名
駒込……………1名
など

2021年度

高校受験

(都)日比谷……………1名
(都)戸山……………1名
(都)国際……………1名
(都)三田……………1名
(都)小松川……………3名
(都)上野……………1名
(都)江戸川……………3名
(都)産業技術高専(ものづくり工学)……………1名
国府台女子学院(英語)……………1名
淑徳巣鴨(特進)……………1名
足立学園(文理)……………1名
東洋女子(特進)……………1名
文京学院大女子……………1名
城西大城西……………1名
など

中学受験

(国)お茶の水女子大附……………1名
(都)東大教育学部附属……………1名
早稲田佐賀……………1名
城北……………1名
高輪……………1名
品川女子学院……………1名
など

「英語の基本? 単語を覚えるだけでしょ。」

ちょっと待った! 本当に単語を覚えるだけで英語の問題が解けるようになるのでしょうか。学習指導要領が改訂されて、小学校から中学校までで、学ぶ単語数は2500語程度にまで増えました。これらを闇雲に覚える。考えるだけで気が遠くなりますね。

耕知塾が考える英語の基本はたったの2つ!

「主語・動詞」と「さかさま」

このたった2つの感覚を基礎としてしっかりと作り上げることに全力を注いでいます。これさえあれば、多少文法が複雑になったり、文章が長くなったりしても対応できます。

もちろん単語を覚えなくてもいいわけではありません。ですが、英文の構造を理解した上で単語を覚えるのと、そうでないのでは、効果は段違いになります。今回は耕知塾の「主語・動詞」について紹介していきたいと思います。

主語と動詞はセット

The man plays tennis. 「その男性はテニスをする。」

この英文の主語は、*the man*で、動詞は*plays*です。これは難なく生徒も日本人にできます。では、こうなったらどうでしょうか。

The man I met plays tennis.

ここで「主語・動詞」の感覚がない生徒は「その男性は…? ? ? ?」と大混乱になります(もちろん関係代名詞の文法は導入してあります)。この場合必要なのは、「主語・動詞」のセット感です。

The man I met plays tennis.

こうして「主語・動詞」の整理をすることで、「私が会ったその男性はテニスをする」と日本語にすることができるようになります。

単語の意味は予測ができる

さらに「主語・動詞」の感覚を研ぎ澄ますと、単語の意味を予測しやすくなります。英文を読んでいて、知らない単語にぶつかってしまうと、途端に不安になって読み進められなくなってしまう生徒がいます。

Do you climb that mountain?

ああ、「climb」の意味を忘れてしまった…。

これで諦めてしまってもはいけません。「climb」は動詞であることがわかれば、とりあえず「あなたは、あの山climbしますか。」としておくことができます。そして読み進めることで、他の情報から「～に登る」かもしれないと、予測できる可能性があります。もし、予測できなくても「動詞」であるという情報だけで乗り切れることも可能です。

このように「主語・動詞」という英語の基本をしっかりと身につけることで、ただ英文が読めるだけでなく、知らない単語の意味まで予測していくことができるようになります。英文がわかるようになれば、もっと英語を楽しく学べます。

「計算が基本で、文章題が応用?」 実は深い! 算数の「本当の基本」

まずは、以下の問題を見てください。

- 1.36 ÷ 8.5を計算しなさい。
- ある針金の重さを量ったら10.8gあり、その長さは13.5cmでした。この針金1cmあたりの重さは何gですか。

この2つの問題を見て、「ああ、(1)が基本で、その応用が(2)ね」と考える方が多いのではないのでしょうか。しかし私たちの考えは少し違います。

確かに(1)の計算ができないと、(2)の文章題は解けません、(2)のような文章題では、たとえ計算ができて、そもそもの式を立てられなければ解けません。つまり計算は、文章題などを解くための単なる手段であって、基本ではありません。「**本当の基本**」は、もっと別のところにあります。

たとえば、以下の次のような問題こそ、「**本当の基本**」になると考えます。

- 筆算をせず、答えが8より大きくなるのはどちらか選びなさい。
① 8 ÷ 1.02 ② 8 ÷ 0.98

この問題では、**わり算のイメージ**を問うています。わり算といえば「分ける」というイメージが強いですが、耕知塾ではもうひとつの大事なわり算のイメージとして「**いくつ入るか**」を教えます。

例えば、8 ÷ 1 = 8ですが、これは「8の中には1が8個入る」という意味になります。そう考えると、(3)の答えが感覚的に見えてきます。答えは、②だと分かりますね。

さて、(2)の問題に戻りましょう。(2)ではまず、多かれ少なかれ答えのイメージをすることが必要です。つまり「13.5cmで10.8gということは、1cmあたり1gより重いのか、軽いのか?」。その答えは「1gより軽い」ですね。そしていよいよ立式です。この問題は、10.8 ÷ 13.5なのか、13.5 ÷ 10.8なのかで迷う生徒が相当数いるかと思いますが、「1gより軽い」のであれば、正しい式はどちらでしょうか。このとき、(3)のような「**本当の基本**」がしみついていて、自信を持って10.8 ÷ 13.5が正しい式だと分かるのです。

このように、耕知塾では、「算数の基本=計算問題」といった単純な捉え方はしていません。ひとことに算数・数学といっても、関数・図形など様々な学問の集合ですから、それぞれに「**本当の基本**」があります。言い換えれば、普通に勉強してはなかなか意識されないような、頭を動かす上でポイントとなる「**本当の基本**」が隠れているのです。それを掘り起こし、生徒たちに少しずつ身につけてもらうこと。それが私たちの目指す**勉強**です。

安心の1ヶ月無料体験実施中!

生徒と保護者の「選ぶ権利」を保障するため、耕知塾では1ヶ月の無料体験授業を実施しています。1ヶ月後に、ご報告の面談もさせていただきます。そちらも含め、じっくり塾を吟味してください。

面談のご予約 個別相談 学力診断テスト 1ヶ月無料体験授業 正式入塾

学力診断テスト 毎週土曜日に実施! 時間・日程などは電話にてお問い合わせください。

3/1(金)開講!

2024年 各コースのご案内

小学部

小学部すべて

時間 16:50~18:50

▼受講費用 レギュラーコース

	小4	小5	小6
国・算・英	16,000円/月 (英は小6のみ)		
中高	6,500円/月		
作文	4,500円/月		

中学部

中1~2全科目、中3理社

時間 19:15~21:45

中3英数国

時間 19:05~21:55

▼受講費用

	中1	中2	中3
英・数・国	22,000円/月		
理社	1科目2,000円/月	1科目4,000円/月	

※兄弟姉妹で入塾される場合、2人目から授業料が3割減額されます。その場合2人目の入会金は不要です。
※新規ご入会の場合、上記費用のほか入会金を頂戴しております。

詳細はお気軽に
お電話ください。



耕知塾

<https://www.kouchi.link>



金町教室

03(5699)8663